精神神経科

（スタッフ）

部長　　：森永　克彦
主任医師　：平川　博文（2018. 3月まで）
　　：上本　裕貴（2018. 4月から）
看護師　　：井上　百合
臨床心理士：林　千和

（診療実績）

当科は病棟を持たないため、外来診療と他科入院患者の精神疾患の診療を行っています。

１年間の外来新患数は205名（前年169名）、再来総数4,544名（前年4,474名）でした。新患数の中には、心理検査目的およびカウンセリング目的の受診者５名を含みます。

外来新患の疾患群内訳はF4（神経症圏）が最も多く81名（前年46名）、次いでF3（気分障害）27名（34名）でした。この２群が占める比率は全体の53%（47%）で、例年と同様に約半数を占めます。F0（せん妄、認知症）21名（18名）、F2（統合失調症圏）16名（21名）、と続き、他の疾患群は５％未満でした。

本年は、診断なし14名（０名）、診断保留が７名（０名）と、診断閾値に達するかどうか迷う軽症の受診者が多かったことが特徴です。

入院中外来（院内対診）の新規依頼数は137名（109名）、延べ数は865名（832名）と増加しました。検査とカウンセリング目的での紹介が増えたことによります。疾患群の内訳はF0が35名（29名）、F4が24名（25名）で昨年とほぼ同じ割合です。

（今後の方向性）

外来患者数は、2010年の診療再開から年々増加し2013年以降はほぼ横這いで推移しています。新患数は、昨年は減少したものの本年はまた増加して一昨年と同水準です。現在の医師２名の診療体制では2019年も大きな変動はない見込みです。

日々の診療業務とともに、2020年度中に開設予定の精神医療センター（仮称）の準備を進めて行きます。

（文責：森永克彦）

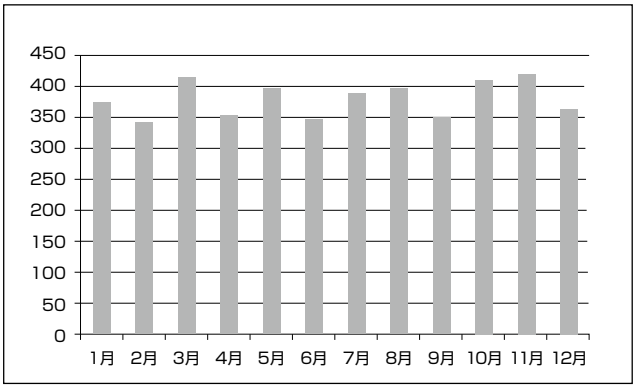

図１　外来再来患者数

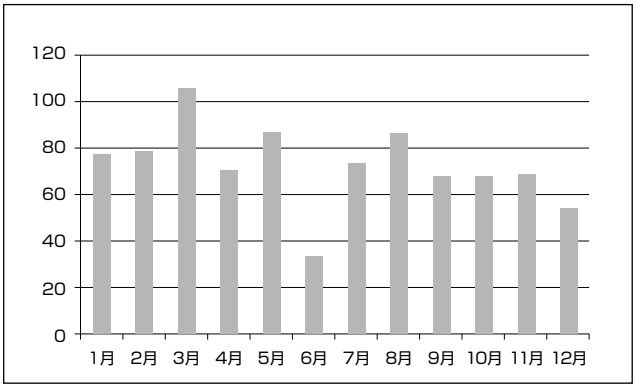

図２　院内対診患者数

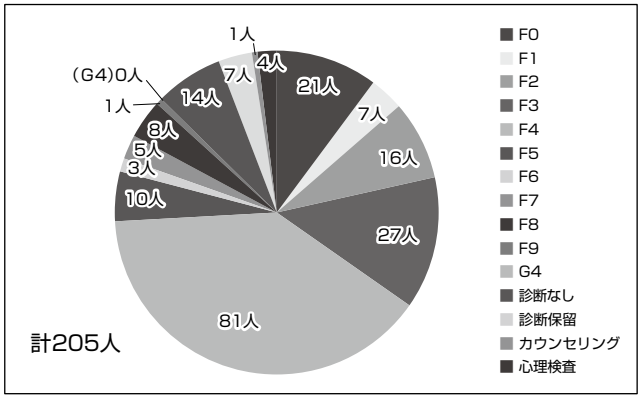

図３　外来新患の診断分類

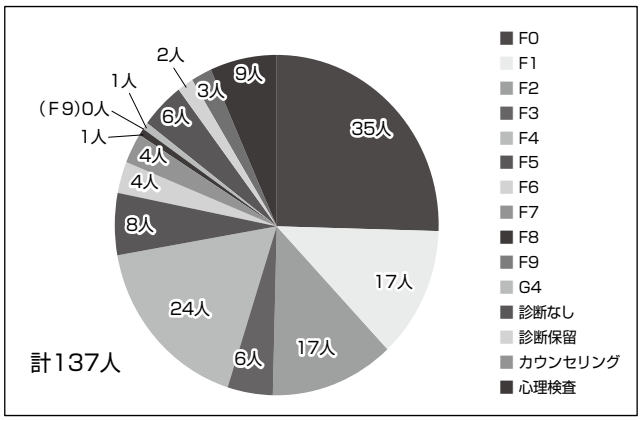

図４　院内対診の診断分類